



Floyo

👍 **Floyo**では、**Web**上で**ComfyUI**を起動でき、チームとワークフローを共有して制作することが可能です。

便利なワークフローが多数公開されているので、複雑な初期設定なしで高品質なワークフローを使用することができます。

目次

1. Floyoへのアクセス	3
2. 無料コードの適用方法	4
3. Floyoの使い方	6
公開されているワークフローの活用	6
オープンソースモデルの活用	7
クローズドソースモデルの活用	10
よくある質問	13
Floyo MCP 利用マニュアル	16
Floyo MCPとは	16
最短の利用手順	16
接続	16
チームを選択	17
ワークフローを探して実行	17
クライアント別の接続設定	17
Claude Desktop / Claude Web	17
Claude Code	17
ChatGPT	17
Codex	18
Cursor	18
Antigravity IDE	18
Antigravity CLI	18
利用できる機能	19
実践プロンプト集	19
ワークフローを安全に選ぶ	19
画像をアップロードして実行する	19
実行状態と成果物を取得する	20
チームの残高を確認する	20
チームを切り替える	20
ファイルを探す	20
安全な運用ルール	20
実行前の確認	20
削除操作	20
認証とチーム権限	20
トラブルシューティング	21
動画ガイド	21
管理者向け導入チェックリスト	22
推奨する標準操作フロー	22

※ページ番号が更新されない場合は、目次を右クリックし「フィールドの更新」を選択してください。

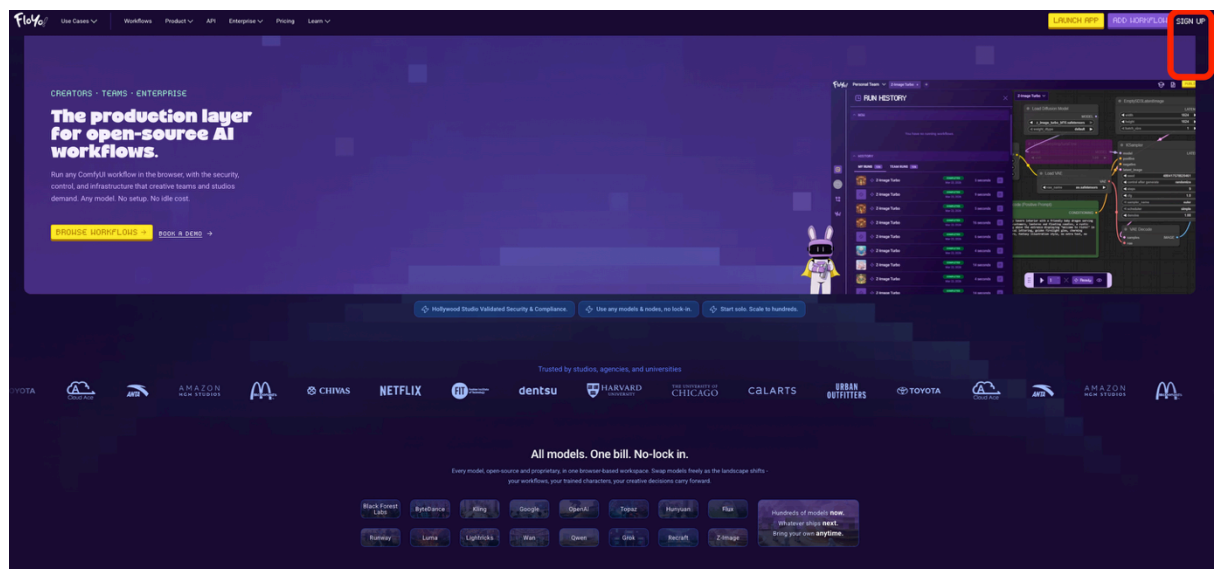
1. Floyoへのアクセス

下記リンク先からアクセスできます

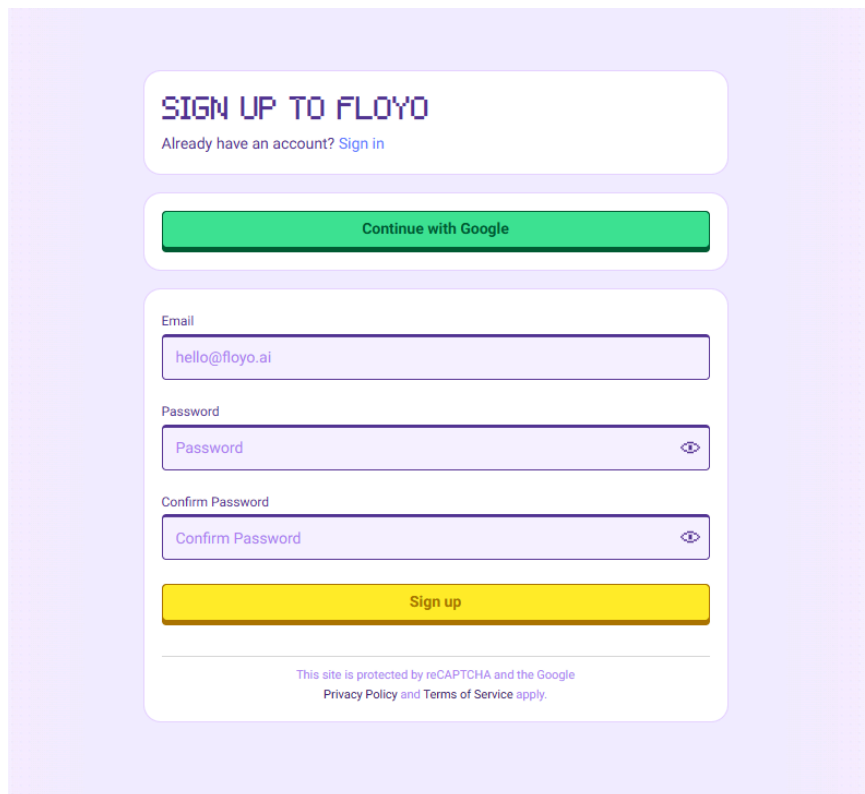
<https://www.floyo.ai/>

 <https://www.floyo.ai/>

- 右上の「SIGN UP」をクリック



- 「Continue with Google」でサインアップできます

The image shows the Floyo sign-up form. At the top, it says 'SIGN UP TO FLOYO' and 'Already have an account? Sign in'. Below this is a green button labeled 'Continue with Google'. Underneath is a form with three input fields: 'Email' (containing 'hello@floyo.ai'), 'Password', and 'Confirm Password'. Each field has a toggle icon for visibility. At the bottom of the form is a yellow button labeled 'Sign up'. Below the button, there is a small text line: 'This site is protected by reCAPTCHA and the Google Privacy Policy and Terms of Service apply.'

2. 無料コードの適用方法

- アイコンをクリック → 「Flo Time」横の ↑ をクリックする

ちなみに、アイコンクリックで表示される各数値は下記の意味です

Flo Time

生成可能な時間です。

ワークフローを構築している時間はカウントされず、GPUがアクティブに使用されている時間（生成ボタンを押してから、生成が完了するまでの時間）で消費されます。

Flex Flo Time

追加購入したFlo Timeです（1時間あたり7\$です）

Partner Nodes ([PartnerNodes価格表](#))

APIウォレットです。

Floyoでは、WAN 3.0、Kling、Seedance2.5などのあらゆるAIモデルをAPI経由で「パートナーノード」として利用できます。

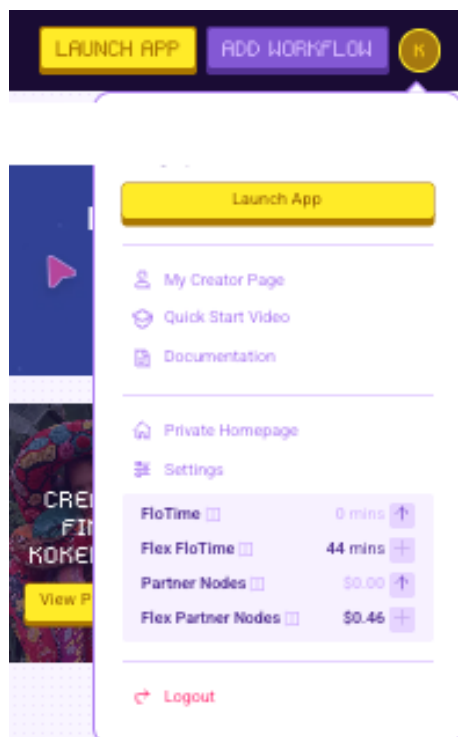
パートナーノードを使用した場合に消費される数字です。

Floyoでは必要な分だけPartner Nodesを課金して使用いただけます

他サービスのように、月末に余ったクレジットを急いで消費する必要はありません

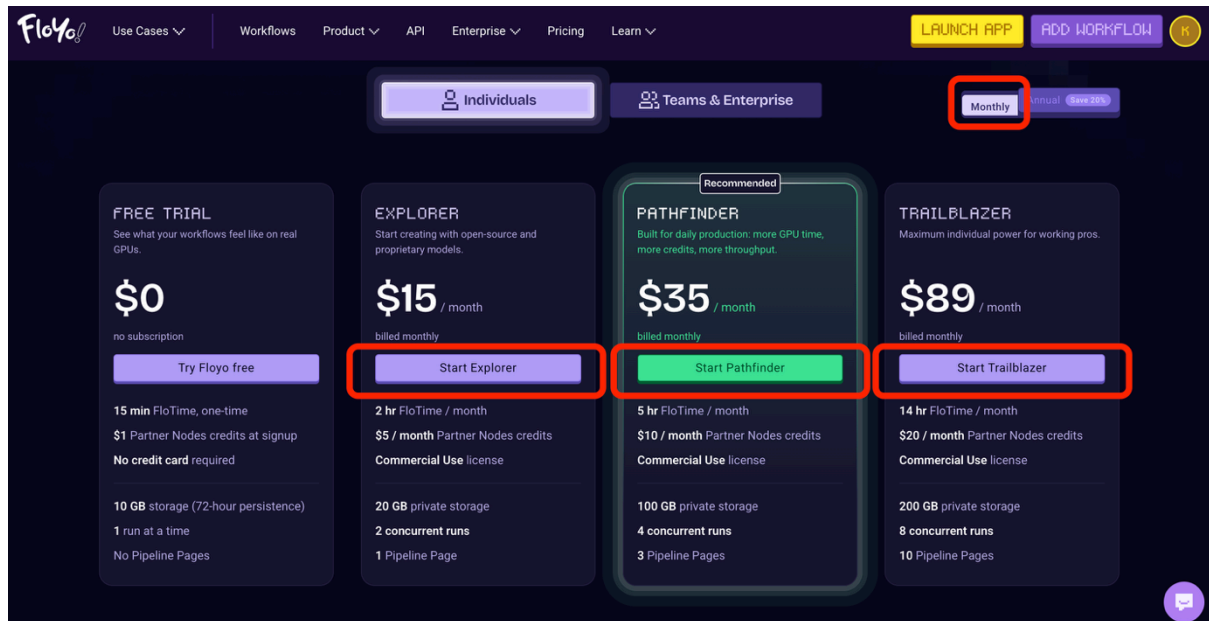
Flex Partner Nodes

Flex Partner Nodes Creditsは1米ドルにつき1米ドル分として購入でき、購入日から最長12か月間繰り越されます。複数回購入した場合、それぞれの購入日を基準に有効期限が設定されます。



- 「Monthly」を選択した上で、使用するコードに適用したプランの「Start “Explorer” / “Parthfinder” “Trailblazer”」のどちらかを選んでクリック

※適用するプロモコードと、選択するプランが異なっているとコードが適用できないためご注意ください
(Explorer, Pathfinder, Trailblazerを選択できます)



- カード情報を入力した上で、赤枠部に無料コードを入力

※期限内にサブスク解約すればカードからの引き落としはありません

- コードを入力し必ず「Total \$0.00」と表示されていることを確認した上で、
- 「CONFIRM PURCHASE」をクリックしてアップグレードする

⚠ 注意 コード適用ミス の事例が確認されております

必ずコードが正しく適用されて「Total \$0.00」と表示されていることを確認後に「CONFIRM PURCHASE」をクリックするようにご注意ください

誤って、正しくコードが適用されなかった場合も返金などの対応は困難なため、ご了承のほどよろしくお願い致します。

また、カード情報が入力されていないと「CONFIRM PURCHASE」をクリックすることが出来ない点もご注意ください

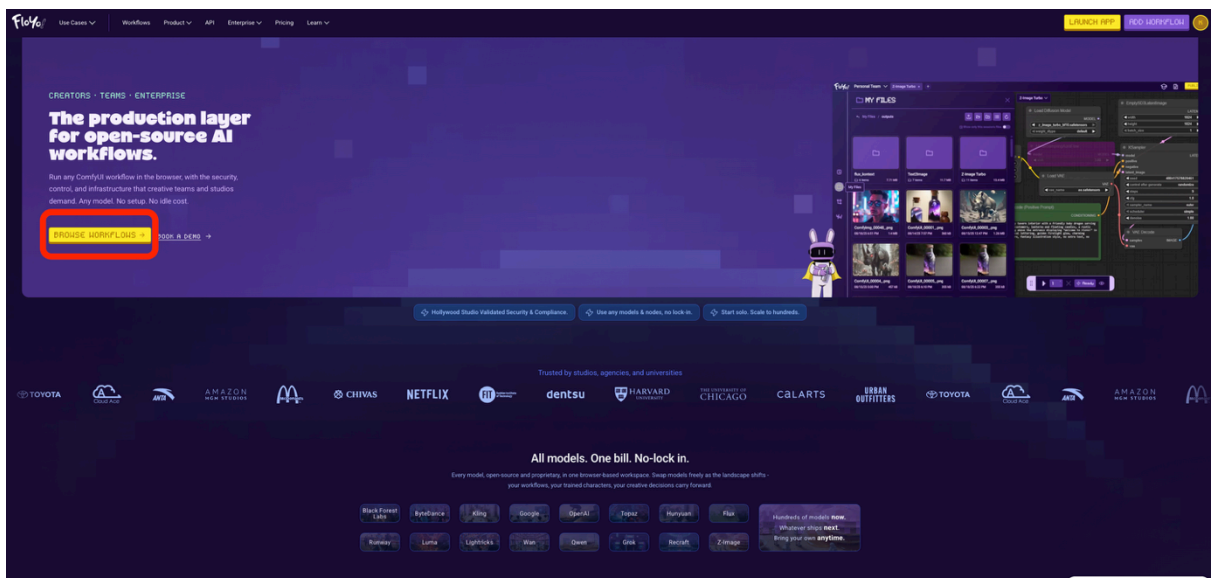
以上で、使用する準備は整いました！

3. Floyoの使い方

公開されているワークフローの活用

モデル名で検索して、公開されているワークフローをすぐに使用することができます

<https://www.floyo.ai/>から

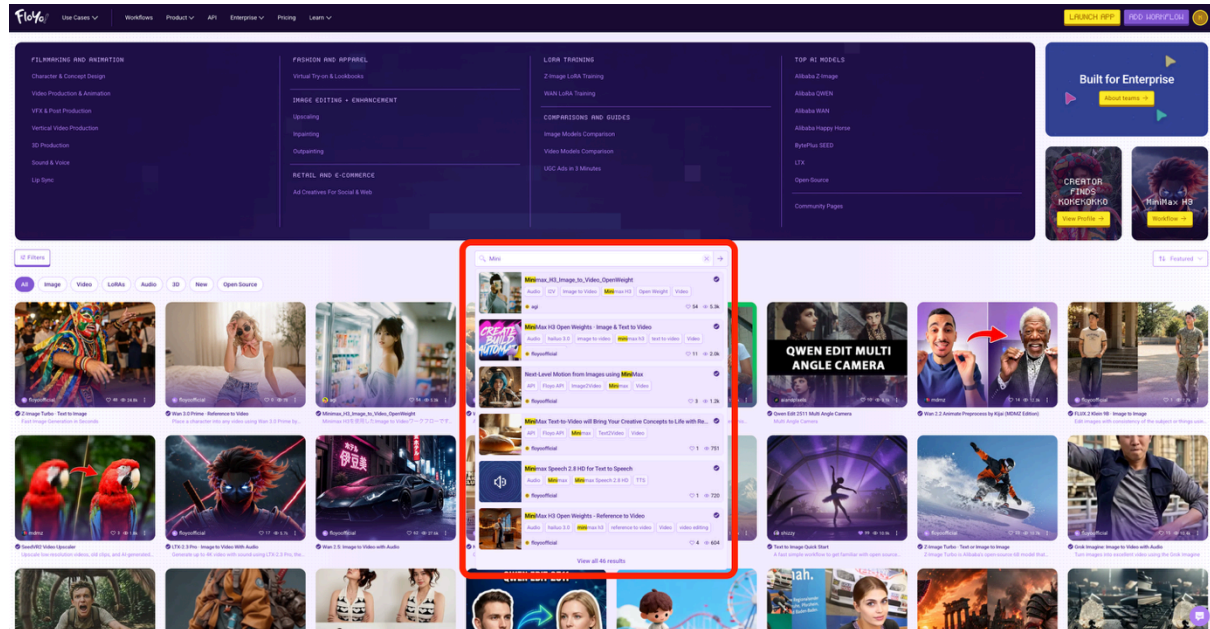


オープンソースモデル例:

■ 赤枠部のSearch欄からモデル名で検索

<https://www.floyo.ai/workflows>

※例として「Mini」と入力してみましょう



オープンソースモデルの活用

MiniMax H3, LTX 2.3などのオープンソースモデルを活用することでPartner Node (APIウォレット)を消費することなく動画生成が可能です。

1) MiniMax H3 Image to Video Open Weight

<https://www.floyo.ai/workflows/minimax-h3-image-to-video-openweight-z6ml5i8dbpnu>

2) LTX 2.3 Text to Video (Open Source Ver.)

<https://www.floyo.ai/workflows/ltx2-3-text-to-video-open-source-ver-l7gyu8h9drw9>

3) LTX2.3_Start_End_Frame_opensauce

<https://www.floyo.ai/workflows/ltx2-3-start-end-frame-opensauce-xr5n8bl7iy4k>

4) Camera Angle Control with Qwen

<https://www.floyo.ai/workflows/camera-angle-control-with-qwen-l3zx6wfdfwk>

5) SCAIL2_Motion_Control

<https://www.floyo.ai/workflows/scail2-motion-control-xh8gkxocvwd5>

例としてMini Max H3の使い方を解説します

■ MiniMax H3 Image to Video Open Weight にアクセスする

<https://www.floyo.ai/workflows/minimax-h3-image-to-video-openweight-z6ml5i8dbpnu>

■ 黄色い「OPEN WORKFLOW」をクリックしてワークフローを起動する

Minimax_H3_Image_to_Video_OpenWeight

Minimax H3を使用したImage to Videoワークフローです。オープンウェイトモデルのためAPIウォレットを消費せず、Load Imageにスタートフレーム画像をアップロードし、aspect_ratio, duration, promptを設定するだけで、すぐに動画生成できます。This is an Image to Video workflow using Minimax H3. Since it uses an open-weight model, it does not consume your API wallet.

Audio I2V Image to Video Minimax H3 Open Weight Video

♡ 54 👁 5.3k



← →

OPEN IN APP

Gen time: ~5 min 39 secs

agi

Nodes & Models

ComfyUI Official

LoadImage
KSamplerSelect
ResolutionSelector
UNETLoader
minimax_h3_fp16.s...
MarkdownNote
BasicScheduler
Note
VAEDecode
VAELoader
minimax_h3_video_vae_fp16.safetensors
minimax_h3_audio_vae_fp...
SaveVideo
CLIPLoader
openai_3.5_turbo_minimax_h3_fp16.safetensors
SamplerCustomAdvanced
RandomNoise
BasicGuider
VAEDecodeAudio
CreateVideo
MinimaxImageToVideo
ComfyMathExpression
PrimitiveFloat

1. Overview | 概要

このワークフローは、Minimax H3を使用したImage to Video用の動画生成ワークフローです。
This workflow is an Image to Video generation workflow using Minimax H3.

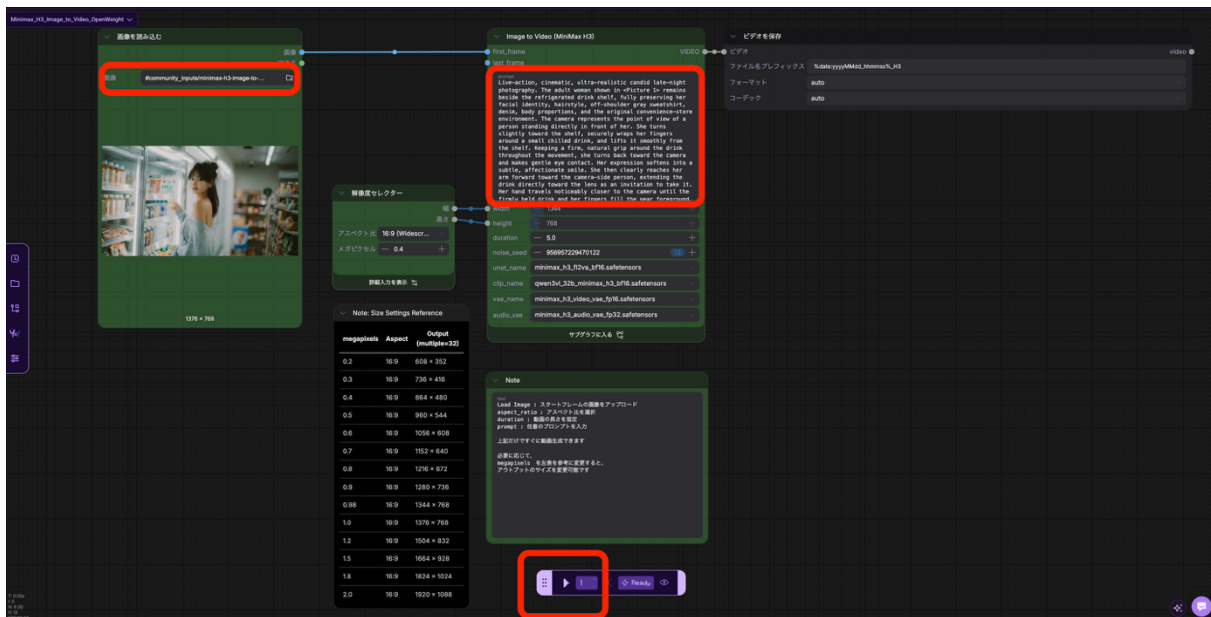
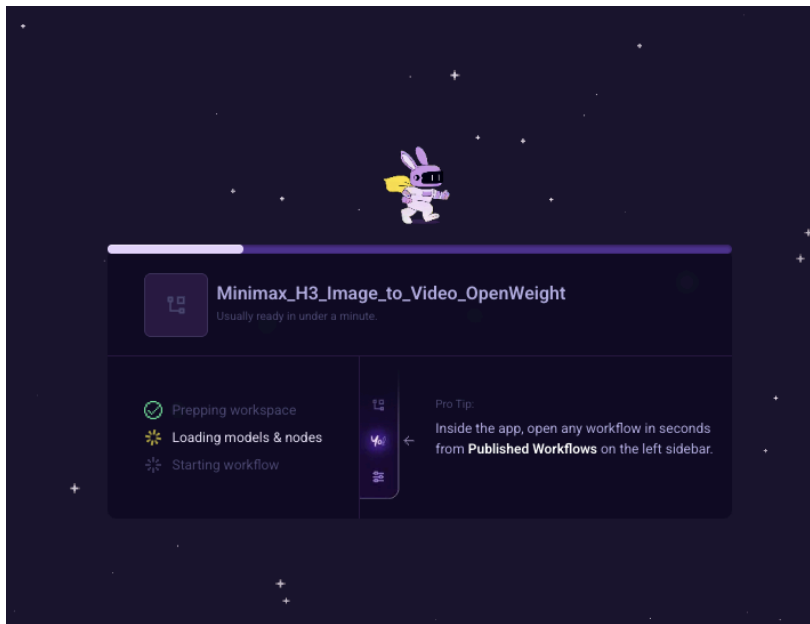
Minimax H3はオープンウェイトモデルのため、APIウォレットを消費せずに動画生成できます。
Since Minimax H3 is an open-weight model, you can generate videos without consuming your API wallet.

スタートフレーム画像をもとに、自然な動きのある動画を生成できます。
You can generate a moving video based on a start frame image.

人物画像、キャラクター画像、商品画像、SNS用ビジュアルの動画化に活用できます。
It can be used to animate portraits, character images, product images, and social media visuals.

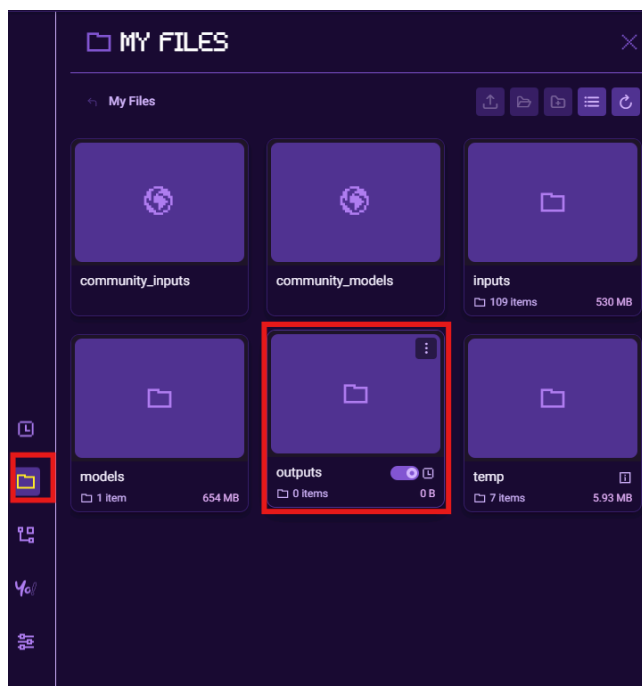
画像をアップロードし、アスペクト比、動画の長さ、プロンプトを設定するだけで使えます。
You can use it by uploading an image, selecting the aspect ratio, setting the duration, and entering a prompt.

■ 構築済みのワークフローをすぐに起動できます



- ①画像のUpload
 - ②プロンプトの入力
 - ③▶で生成
- の3STEPですぐ使えます。

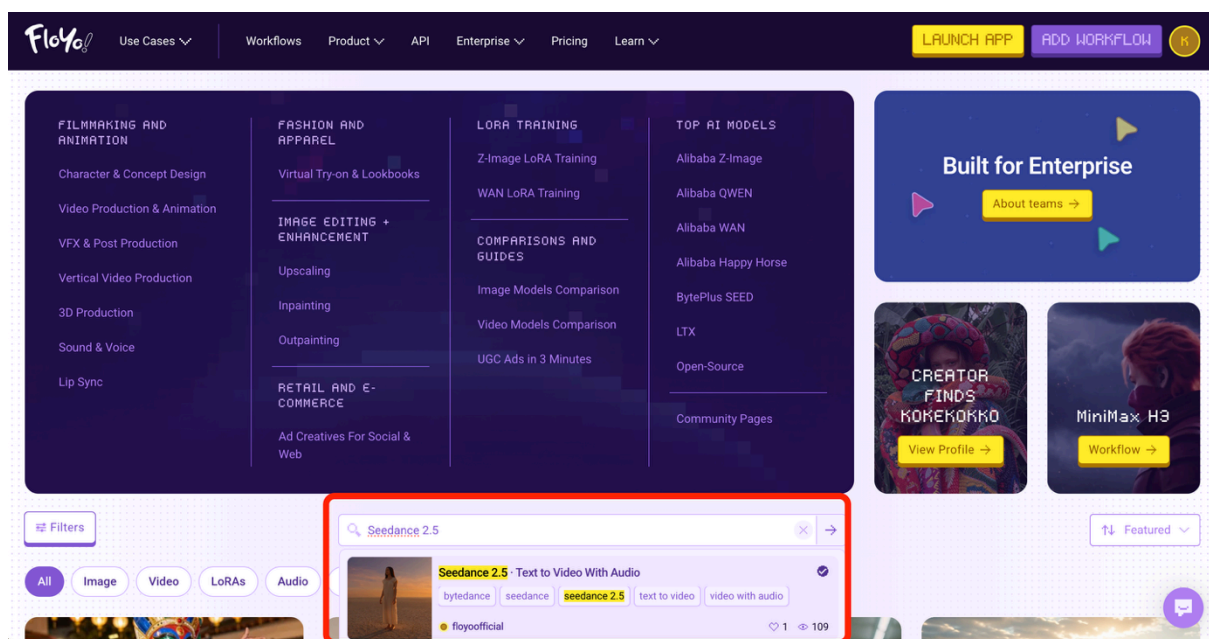
生成完了した画像/動画は、outputsフォルダ内に保存されています



クローズドソースモデルの活用

(Partner Node API利用料金がかかります。)

※例として「Seedance 2.5」と入力してみましょう

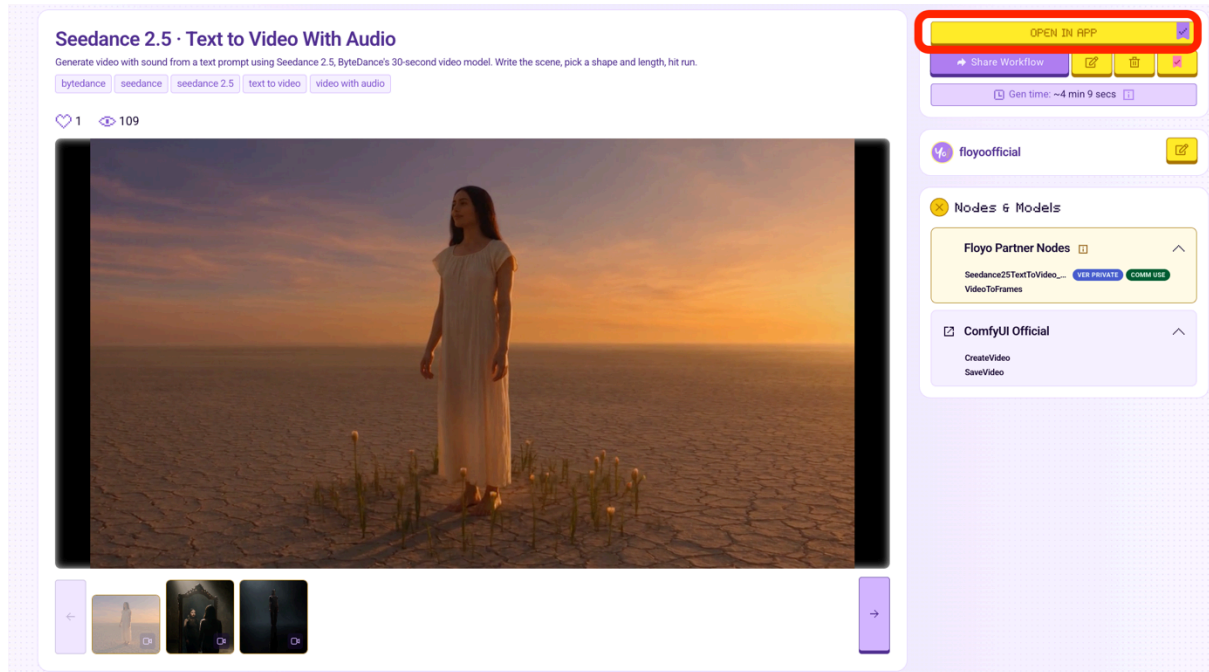


■ 任意のワークフローを検索する

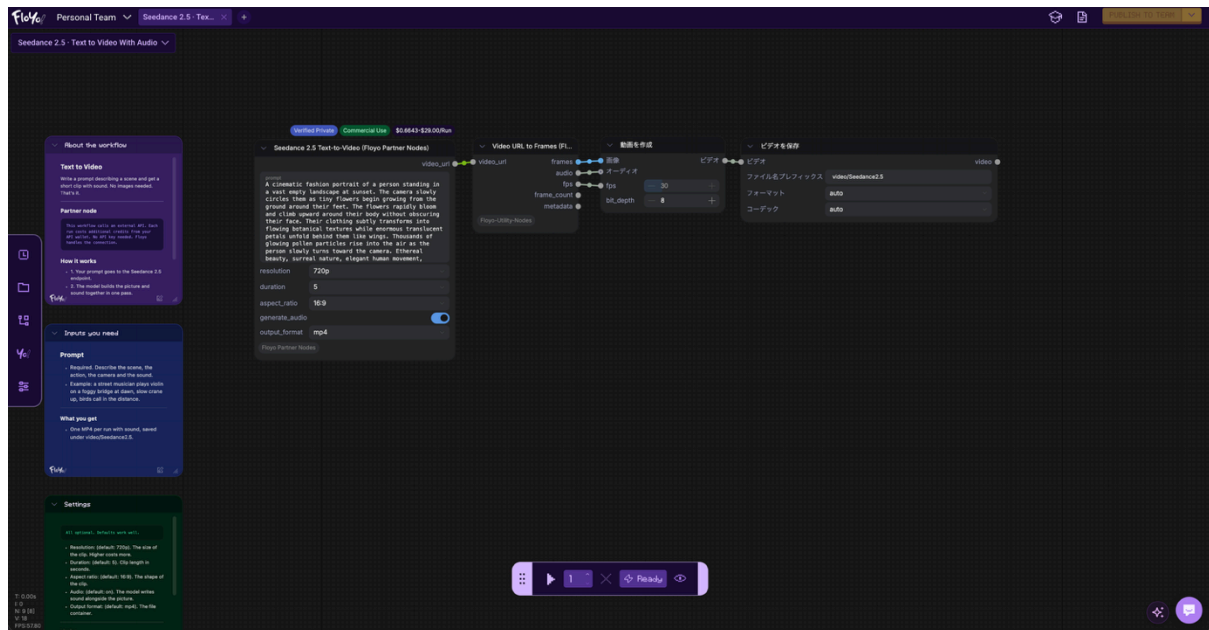
Seedance2.5のワークフローを選択してみましょう

<https://www.floyo.ai/workflows/seedance-2-5-text-to-video-with-audio-p4xug42c07g0>

- 黄色い「OPEN WORKFLOW」をクリックしてワークフローを起動する



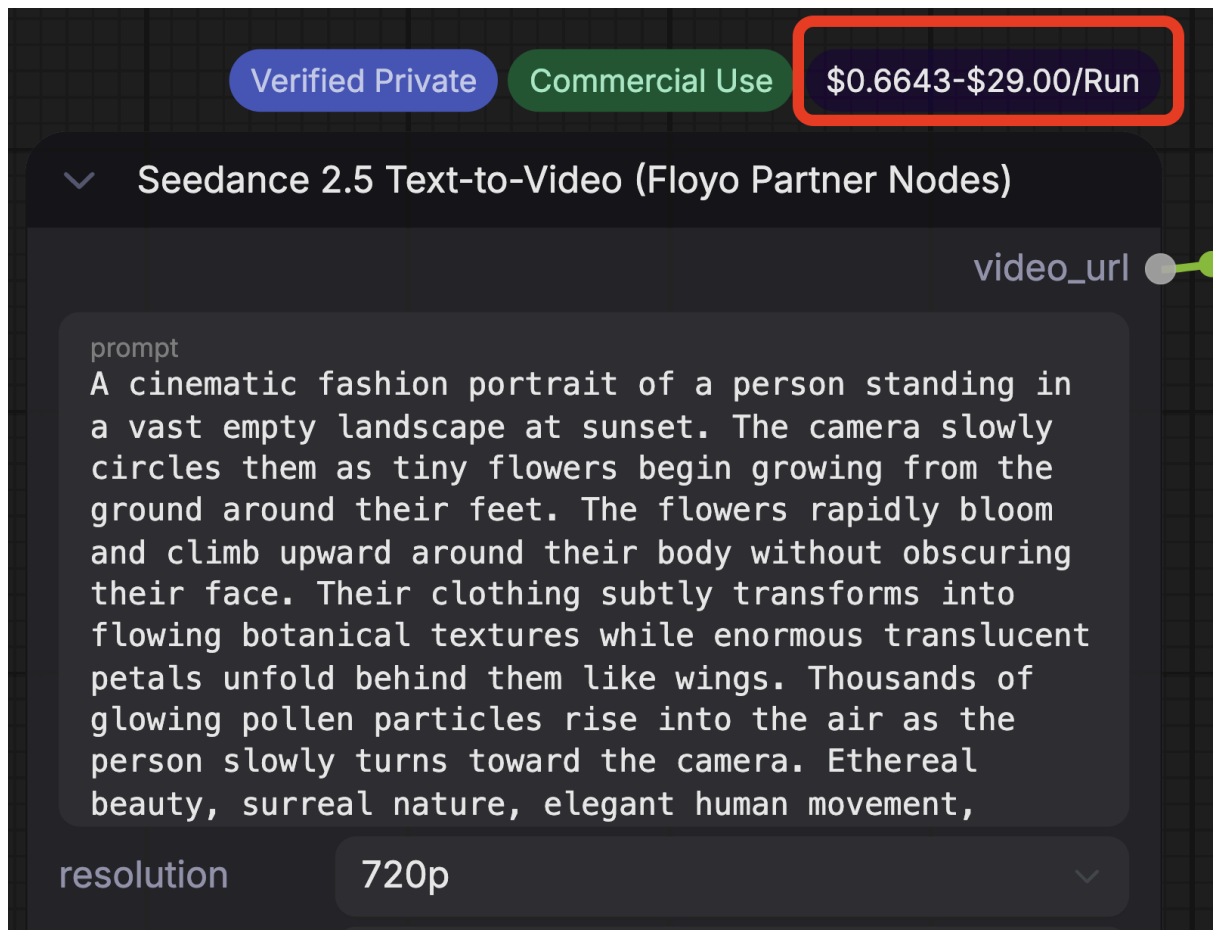
- 下図のように、構築済みのワークフローをすぐに起動できます



上部に金額表示されているノードがパートナーノード(API使用料がかかるもの)です。

Partner Nodesのウォレットから消費されます

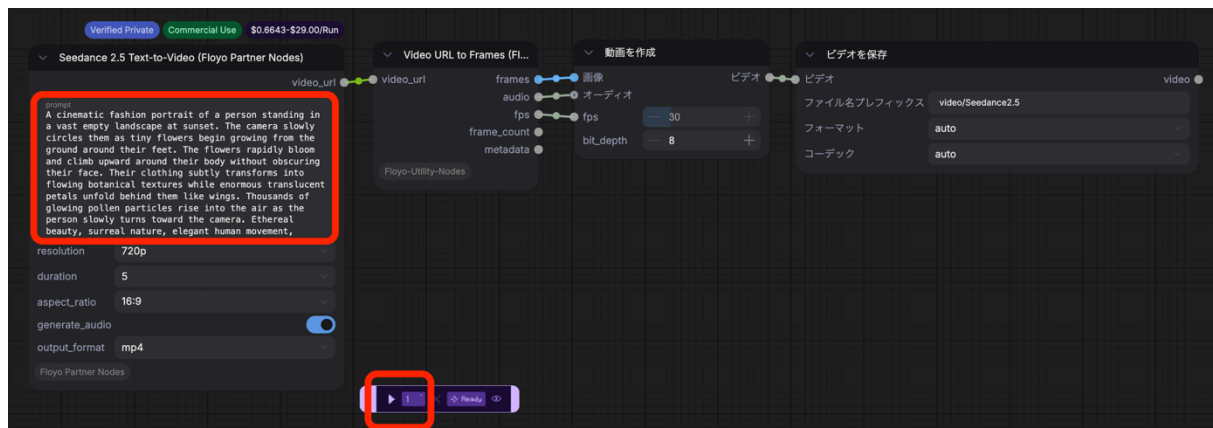
※勝手にクレジットカードから引き落とされることは無いのでその点はご安心下さい



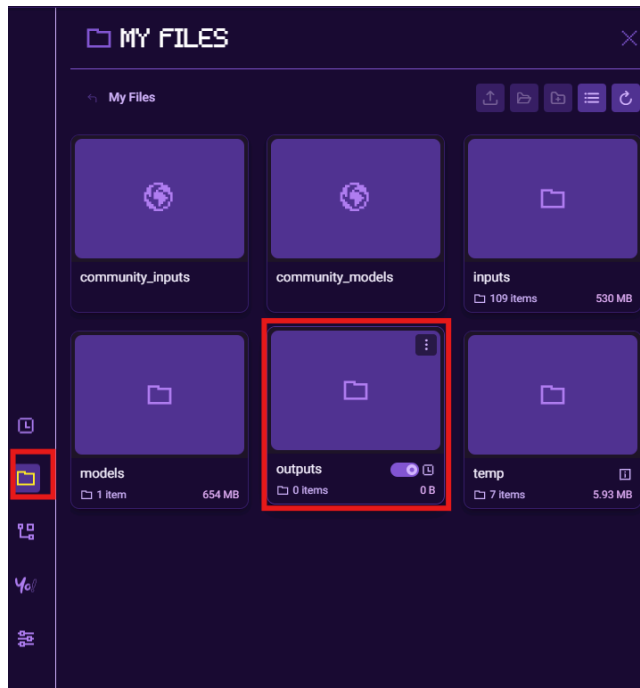
このワークフローは、Seedance2.5でText to Videoをワークフローです。

必要に応じてプロンプトも変更可能です

下部の▶をクリックすると生成が開始されます



生成完了した画像/動画は、outputsフォルダ内に保存されています



よくある質問

■ クイックスタート (Youtube)

<https://youtu.be/KrZU06qeUo4?si=d8EQ260fg13kT0BU>

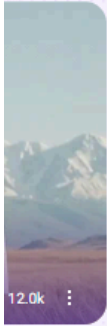
※日本語字幕でご覧いただけます

■ よくある質問

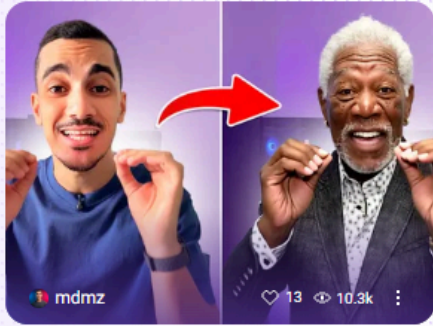
<https://docs.floyo.ai/>

■ Floyoサポート

上記クイックスタート、よくある質問で解決しない内容はチャットボタンから、Floyoサポートに問い合わせ可能です



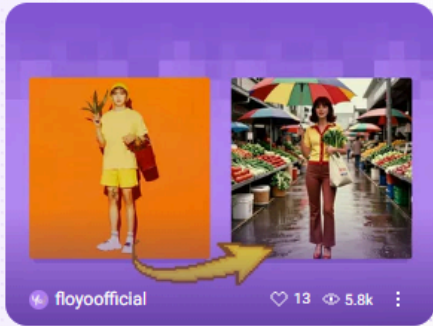
12.0k



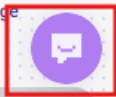
Wan 2.2 Animate Preprocess by Kijai (MDMZ Edition)

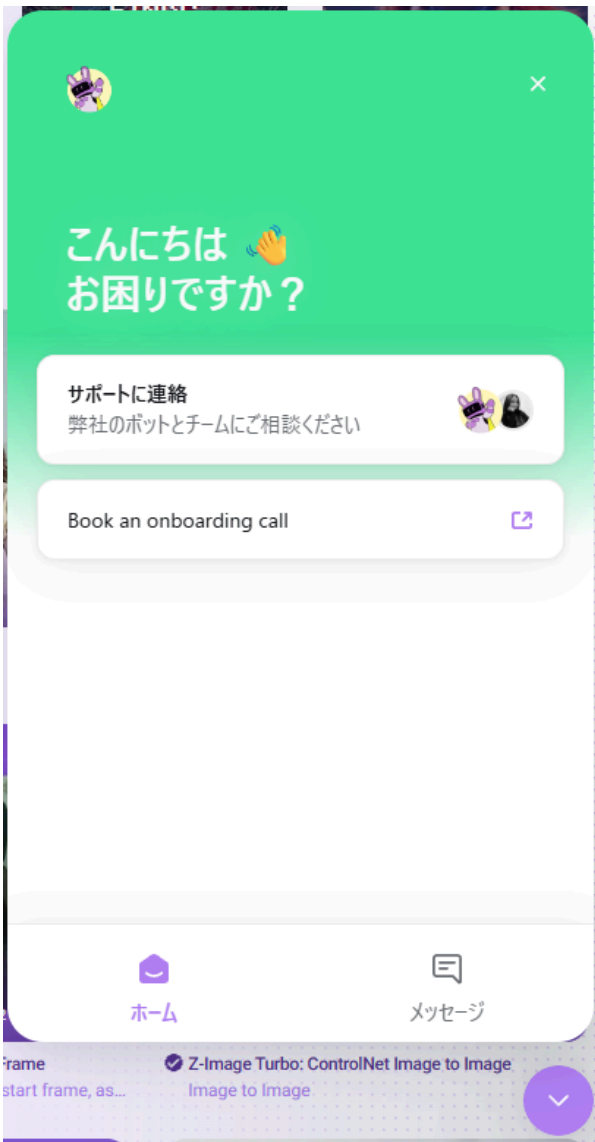


6.0k



Z-Image Turbo: ControlNet Image to Image
Image to Image





Floyo MCP 利用マニュアル

Claude、ChatGPT、Codex、Cursor、AntigravityからFloyoを操作するための接続・運用ガイド

対象: FloyoをClaude、ChatGPT、Codex、Cursor、AntigravityなどのAIクライアントから自然言語で操作したい利用者・チーム管理者

基準日: 2026年8月28日

公式サイト: [Floyo](#)

公式ドキュメント: [Floyo MCP](#)

Floyo MCPとは

Floyo MCPは、AIエージェントからFloyoのワークフローを検索・実行し、出力確認やファイル管理を行うためのリモートMCPサーバーです。

AIクライアントはHTTPSでFloyo MCPへ接続し、Floyo上のワークフローはFloyoのインフラで実行されるため、利用者側にローカルGPUは不要です([Floyo MCP公式ドキュメント](#))。

項目	内容
MCPサーバーURL	https://mcp.floyo.ai/mcp
接続方式	Remote HTTP / Streamable HTTP over HTTPS
認証	Floyo OAuth
APIキー	MCP接続には不要
必要なもの	Floyoアカウント、Remote HTTPとOAuthに対応したMCPクライアント
実行環境	Floyo側のインフラ

Floyo MCPは対話型エージェント向けです。CI、バッチ、独自スクリプトなどからAPIキーを使って直接呼び出す場合は、MCPではなくFloyo APIを使用します

([Floyo MCP公式ドキュメント](#))。

最短の利用手順

接続

1. [Floyo](#)でアカウントを作成します。
2. 使用するAIクライアントに、MCPサーバーURL <https://mcp.floyo.ai/mcp> を登録します。
3. 「Connect」または「Authenticate」を選択します。
4. ブラウザでFloyoにログインし、OAuthアクセスを承認します。
5. AIクライアントのチャットで `List my Floyo teams` と入力します。

接続後はMCPツール名を直接指定する必要はありません。

自然言語で依頼すると、AIエージェントが必要なFloyoツールを選択します([Floyo MCP公式ドキュメント](#))。

チームを選択

次の順に入力します。

```
List my Floyo teams.  
Work under [チーム名] context.  
Which team are we working under?
```

Floyo MCPでは、1人のログインユーザーが複数チームに所属できますが、会話中のアクティブコンテキストは1チームです。ラン、ファイル、アップロード、チーム内ワークフローは選択中のチームに分離されます([Floyo MCP公式ドキュメント](#))。

ワークフローを探して実行

現在のチームで、検証済みの画像アップスケール用ワークフローを探してください。
候補名、概要、必要な入力、想定出力を比較してください。まだ実行しないでください。

候補を確認後、実行前に残高を確認します。

現在のチームのFloTimeとPartner Nodes残高を確認してください。

続けて実行を指示します。

選んだワークフローを現在のチームで実行してください。
実行前に入力値と対象チームを要約し、私の承認を待ってください。

実行後は次のように確認します。

直近のFloyoランを一覧にし、今のランの状態、出力、費用情報を確認してください。

クライアント別の接続設定

画面名やメニュー構成はクライアント更新により変わる場合があります。
以下は2026年8月時点の[Floyo公式手順](#)に基づきます。

Claude Desktop / Claude Web

1. Claudeで **Settings** を開きます。
2. **Customize** → **Connectors** を開きます。
3. Custom Connectorを追加し、名前を `floyo` にします。
4. Remote MCP Server URLに `https://mcp.floyo.ai/mcp` を設定します。
5. **Add**、続けて **Connect** を選択します。
6. ブラウザでFloyo OAuthを承認します。
7. `List my Floyo teams` で接続を確認します。

Claude Code

ターミナルで次を実行します。

```
claude mcp add --transport http floyo https://mcp.floyo.ai/mcp
```

Claude Code内で次を実行し、`floyo` を選択して **Authenticate** を選びます。

```
/mcp
```

ブラウザでFloyo OAuthを承認すると、その後のトークン更新は自動で行われます([Floyo MCP公式ドキュメント](#))。

ChatGPT

1. ChatGPT → **Settings** → **Plugins** → **MCPs** を開きます。
2. **+ Add server** を選択します。
3. MCP名を `floyo` にします。

4. 接続方式に **Streamable HTTP** を選びます。
5. URLに `https://mcp.floyo.ai/mcp` を入力し、**Save** を選択します。
6. MCP一覧でFloyoの **Authenticate** を選択します。
7. ブラウザでFloyo OAuthを承認します。

ChatGPTまたは契約プランによってMCP関連メニューが表示されない場合は、その環境でカスタムMCPが有効かを管理者に確認してください。

Codex

ターミナルで次を実行します。

```
codex mcp add floyo url https://mcp.floyo.ai/mcp
```

OAuth画面が自動的に開かない場合は、次を実行します。

```
codex mcp login floyo
```

設定は次の形式でCodexの `config.toml` に保存されます。

```
[mcp_servers.floyo]
url = "https://mcp.floyo.ai/mcp"
```

Cursor

1. **Cursor Settings** → **Tools & MCP** を開きます。
2. Custom MCP Serverを追加します。
3. 名前を `floyo`、URLを `https://mcp.floyo.ai/mcp` に設定します。
4. **Authenticate** を選び、Floyo OAuthを承認します。
5. FloyoのツールがMCP一覧に表示されることを確認します。

JSONで設定する場合の基本形は次のとおりです。

```
{
  "mcpServers": {
    "floyo": {
      "url": "https://mcp.floyo.ai/mcp"
    }
  }
}
```

Floyo MCPはOAuth専用のため、`mcp.json` にFloyo APIキーを記載しないでください([Floyo MCP公式ドキュメント](#))。

Antigravity IDE

1. **Settings** → **Customizations** → **Open MCP Config** を開きます。
2. 設定ファイルに次を追加します。

```
{
  "mcpServers": {
    "floyo": {
      "serverurl": "https://mcp.floyo.ai/mcp"
    }
  }
}
```

3. 保存後、Antigravityに戻って **Refresh** を選択します。
4. Installed MCP ServersでFloyoを選択し、**Authenticate** を実行します。
5. ブラウザで認証後に表示された認可コードをAntigravityへ貼り付け、**Submit** を選択します。

Antigravity CLI

Antigravity CLIのグローバルまたはワークスペース設定に、IDEと同じ `serverurl` 形式でFloyoを追加します。CLIで `/mcp` を実行し、Floyoを選択して **Authenticate** を行い、ブラウザに表示された認可コー

ドをCLIへ戻します。認証後もDisconnectedと表示される場合は、`/mcp` からサーバーを再読み込みします([Floyo MCP公式ドキュメント](#))。

利用できる機能

機能	MCPツール	主な用途
チーム一覧	<code>list_user_teams</code>	自分が所属するFloyoチームを確認
残高確認	<code>get_team_balance</code>	FloTime、Partner Nodes、割当・利用状況を確認
ワークフロー検索	<code>discover_workflows</code>	キーワード、タグ、公開範囲、検証状態などで検索
ラン一覧	<code>list_team_runs</code>	チームの実行履歴、出力、費用を確認
ワークフロー実行	<code>run_workflow</code>	Comfy API workflow JSONからランを作成
ラン詳細	<code>retrieve_run</code>	ランIDから状態、出力URL、費用詳細を取得
ファイル一覧	<code>list_files</code>	チームストレージ内のファイル・フォルダーを検索
ファイル詳細	<code>retrieve_file</code>	メタデータや一時ダウンロードURLを取得
ファイル削除	<code>delete_file</code>	ID指定でファイルまたはフォルダーを永久削除
アップロード準備	<code>prepare_file_upload</code>	チーム用の短期アップロードセッションを作成

このツール一覧と各機能は[Floyo MCP公式ドキュメント](#)に基づきます。

実践プロンプト集

ワークフローを安全に選ぶ

現在のチームで「text to image」に使える検証済みワークフローを5件まで探してください。
各候補について、モデル、必要入力、出力形式、用途、確認できる費用情報を表にしてください。
この段階では実行しないでください。

画像をアップロードして実行する

現在のチーム名を確認してから、入力画像をアップロードするための画面を開いてください。
アップロード完了後、ファイルIDとファイル名を表示し、実行前に使用するファイルを確認してください。
アップロードした画像を、先ほど選んだアップスケール用ワークフローで処理してください。
実行前に、チーム名、ワークフロー名、入力ファイル、主要パラメータを要約し、承認を求めてください。

アップロードウィジェットはChatGPTとClaude Web/Desktopでサポートされ、1セッション最大10ファイル、1ファイル最大90 MBです。CLIアプリは対話型HTMLウィジェットを表示できないため、この方法のアップロードには対応しません([Floyo MCP公式ドキュメント](#))。

実行状態と成果物を取得する

直近のランを新しい順に5件表示してください。
ランID、ワークフロー名、状態、開始時刻、完了時刻、費用、出力数をまとめてください。

ランID [ID] の詳細を取得し、出力ファイルの一時ダウンロードURLを表示してください。
失敗している場合は、取得できるエラー情報と再実行前の確認事項を整理してください。

チームの残高を確認する

現在のチームのFloTimeとPartner Nodes残高を確認してください。
プラン割当、Flex FloTime、予約中・実行中の利用量も分けて表示してください。

チームを切り替える

Switch to [別のチーム名] team.
切替後、現在のチーム名を再確認してください。

ファイルを探す

現在のチームのoutputsフォルダーから、過去7日間に作成された動画ファイルを新しい順に一覧表示してください。
削除や変更はしないでください。

安全な運用ルール

実行前の確認

- チーム名を固定する: 各作業の最初に `Which team are we working under?` で確認します。
- 検索と実行を分離する: 最初の指示では「まだ実行しない」と明記し、候補確認後に実行します。
- 費用を確認する: 実行前に `get_team_balance` 相当の残高確認を依頼します。
- 入力とパラメータを復唱させる: チーム、ワークフロー、ファイル、解像度、回数などを実行前に表示させます。

削除操作

`delete_file` による削除は永久削除で、Floyo上で元に戻せません。エージェントには確認を促す指示がありますが、利用するモデルやMCPクライアントの挙動に依存するため保証ではありません。ツールの自動承認は避け、削除対象をファイル名とIDで限定し、再帰削除は対象ツリー全体の消去として扱ってください。inputs と outputs のルートフォルダー自体は削除できません([Floyo MCP公式ドキュメント](#))。

推奨する削除プロンプト:

ファイルID [ID] のメタデータを確認し、ファイル名、パス、サイズ、更新日時を表示してください。
まだ削除しないでください。

確認後:

確認したファイルID [ID] だけを削除してください。
他のファイルやフォルダーは変更しないでください。

認証とチーム権限

Floyo OAuthは、AIエージェントをサインイン中のFloyoユーザーに対応付けます。エージェントが参照・実行できる範囲は、そのユーザーのFloyo上のチーム所属とロールに従い、メンバー権限をFloyoで取り消すと、次の認証済み呼び出しから対象チームへアクセスできなくなります([Floyo MCP公式ドキュメント](#))。

チームメンバー間でAPIキーを共有せず、各利用者が自分のFloyoアカウントでOAuth接続してください。アップロード時のファイル本体は端末からFloyoのCDNとチーム専用ストレージへ直接送られ、MCPホストや言語モデルを経由しない設計です([Floyo MCP公式ドキュメント](#))。

トラブルシューティング

症状 Floyo MCPを追加できない	主な原因 クライアントがRemote HTTPまたはOAuth非対応	対処 対応クライアントを使用し、URLが <code>https://mcp.floyo.ai/mcp</code> か確認
認証画面が開かない	OAuth開始に失敗、ポップアップ制限	MCP一覧からAuthenticateを再実行。Codexは <code>codex mcp login floyo</code> を実行
チームの履歴やファイルが見えない	チームコンテキスト未設定、所属権限不足	<code>List my teams</code> の後に <code>Work under [team] context</code> を実行
実行対象が別チームになる	会話途中でチームを切り替えた	<code>Which team are we working under?</code> で再確認
アップロード画面が出ない	CLIクライアントを利用	ChatGPTまたはClaude Web/Desktopのアップロードウィジェットを使用
アップロードに失敗	10ファイル超、または1ファイル90 MB超	ファイル数・容量を減らして新しいセッションで再試行
Cursorで認証できない	APIキー方式を設定している	APIキーを削除し、URLのみ設定してOAuthを実行
AntigravityがDisconnectedのまま	認証後にサーバー状態が未更新	<code>/mcp</code> からFloyoサーバーを再読み込み
ファイル削除が失敗	ルートフォルダー、非空フォルダー、権限不足	対象IDを確認。非空フォルダーの再帰削除は影響範囲を確認後に実行

Floyo公式ページには独立したエラーコード一覧がないため、問題が続く場合は、クライアント名、OS、発生時刻、チーム名、ランID、表示されたエラー全文を揃えてFloyoサポートへ共有するのが適切です。

動画ガイド

2026年8月28日時点で、Floyo MCPの接続から実行までを専門に扱う公式YouTube動画は確認できませんでした。以下はFloyo本体、チーム運用、ComfyUIワークフローを理解するための関連動画です。

- Floyoの全体操作: [Best online ComfyUI - How to use Floyo](#)では、空のキャンバス、既存の検証済みワークフロー、JSONアップロードからFloyoを利用する流れを確認できます。
 - 初心者向けFloyoコース: [ComfyUI Tutorial for Beginners: Run Any Workflow in Your Browser - Floyo Course Ep 1](#)は、Floyo上でブラウザからワークフローを実行する入門動画です。
 - チーム運用: [Floyo Teams: ComfyUI, Now Multiplayer for Enterprise](#)は、チーム向けFloyoの位置づけを説明しています。
 - モデル・ノード統制: [How to Govern Models & Nodes for Your ComfyUI Team | Floyo](#)は、チームで利用可能なモデルとノードを統制する方法を扱います。
 - 最初のワークフロー: [ComfyUI for Beginners: Running Your First Workflow Start to Finish](#)は、ワークフローの読み込みから実行までを説明しています。
 - Text-to-Image構築: [How to Build a Text-to-Image Workflow in ComfyUI from Scratch](#)は、ノード接続、プロンプト、解像度、VAE、保存までを順に解説しています。
- MCP接続そのものは動画ではなく、最新情報が反映される[Floyo MCP公式ドキュメント](#)を正本として参照してください。

管理者向け導入チェックリスト

- 利用者がFloyoアカウントを持っている
- 利用者が必要なチームに招待され、適切なロールを持っている
- 使用クライアントがRemote HTTPとOAuthに対応している
- MCP URLが `https://mcp.floyo.ai/mcp` である
- APIキーをMCP設定ファイルに保存していない
- `List my teams` で接続確認ができる
- 作業開始時にチームコンテキストを明示する運用になっている
- 生成前に残高・入力・主要パラメータを確認する
- ファイル削除ツールを自動承認しない
- 削除は対象ID確認後に個別承認する
- ランIDと出力を記録し、再現性を確保する
- 共有端末では作業終了後にMCP接続とFloyoセッションを確認する

推奨する標準操作フロー

1. 認証: OAuthで接続する。
2. チーム確認: `List my teams` を実行する。
3. コンテキスト固定: `Work under [team] context` を実行する。
4. 残高確認: FloTimeとPartner Nodesを確認する。
5. 探索: 検証済みワークフローを検索する。
6. 事前確認: ワークフロー、入力、パラメータ、チームを復唱させる。
7. アップロード: 必要な入力をチーム専用ストレージへ送る。
8. 承認: 実行内容を人が確認する。
9. 実行: Floyo上でワークフローを開始する。
10. 追跡: ランID、状態、費用、出力を取得する。
11. 保存: 成果物と実行条件を記録する。
12. 整理: 不要ファイルは対象を確認し、個別承認で削除する。

このフローにより、自然言語の利便性を維持しながら、誤ったチームでの実行、意図しない費用発生、誤削除のリスクを抑えられます。